

山口情報芸術センター [YCAM] 滞在制作 / 企画展 (YCAM 委嘱作品)

あんどう ようこ
安藤洋子 新作インスタレーション

「Reacting Space for Dividual Behavior」

(リアクティング・スペース・フォー・ディビジュアル・ビヘイビア)

2011年5月28日(土) – 8月21日(日) 10:00 – 19:00 ※火曜休館

山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ 入場無料

ダンサー、安藤洋子とYCAMの共同研究開発による、体験型インスタレーション
身体メカニクスを抽出し、身体への新たな意識をもたらす実験的環境

山口情報芸術センター [YCAM] では、ザ・フォーサイス・カンパニーの中心的ダンサーを務める安藤洋子(あんどう・ようこ)とYCAMとの共同研究開発による、新作インスタレーション「Reacting Space for Dividual Behavior」を発表します。

本作は、安藤洋子がこれまでに培ってきた、身体表現における思考・知覚・コミュニケーションの方法論を、インスタレーション作品として、誰もが体験できる環境として提示するものです。体験者は、作品内の仮想空間とのインタラクションを通じ、身体に潜んでいる動き、記憶、モチーフを発見することができます。

YCAMがこれまで試みてきた多様なインスタレーションの構想を、身体表現へと応用した本作は、空間・身体・運動への新たな知覚をもたらします。会期中には、新作を用いた、安藤洋子によるデモンストレーションや、ワークショップを開催し、自己の身体を再認識するための実験的環境である本作の可能性を、広くご紹介します。



参考写真: William Forsythe 「Hetero topia」(ダンサー: 安藤洋子) photo: Sylvio Dittrich

■ 内覧会 5月28日(土) 13:00-14:30

※同時開催、平川典俊 新作インスタレーションと併せて発表。

■ オープニングイベント

安藤洋子デモンストレーションパフォーマンス

5月28日(土) 19:00-19:40 入場無料

■ 同時開催

YCAM 滞在制作 / 企画展 (YCAM 委嘱作品)

平川典俊 新作インスタレーション

「Beyond the sunbeam through trees—木漏れ日の向こうに」
(ビヨンド・ザ・サンビーム・スルー・ツリーズ)

2011年5月28日(土) – 8月21日(日) 10:00 – 19:00

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオB 入場無料

ぜひこの機会に、取材や記事掲載ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM] 広報担当: 廣田

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 e-mail: information@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市巾着町7-7 <http://www.ycam.jp/>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

安藤洋子が培ってきた身体言語を、ひとつの方法論として提示する 身体表現における、思考・知覚・コミュニケーションを実践する実験的環境

安藤洋子は、コンテンポラリーダンスを牽引し続けるダンスカンパニー、ザ・フォーサイス・カンパニー*（ドイツ）の中心的存在として活躍するダンサーです。2001年より、カンパニーに所属し、ウィリアム・フォーサイスの元で、その独自の身体言語や、ダンスにおける考え方、直観性を培い、近年には自らのプロジェクトやソロ作品の上演を積極的におこなっています。

本展では、安藤がこれまで培ってきた、ダンサーの知覚と身体の問題を取り上げ、私たちの身体や空間に対する認識、身体に潜む動き、記憶、モチーフを発見するための実験的環境の創出を目指します。メディアアートのクリエイションに特化した研究開発チームYCAM InterLabによる技術開発と提案のもと、身体表現における思考・知覚・コミュニケーションをテーマに、身体のメカニクス、身体を取り巻く環境、そして知覚との関係性を、メディアテクノロジーの有効な利用によって、ひとつの方法論へと昇華させ、新作インスタレーションとして提示します。

本作を体験することで、プロのダンサーが持つ身体への意識を、体験者それぞれが開拓し、発見できるほか、身体の動きやイメージといった自己の身体の新たな可能性に出会えます。

*ザ・フォーサイス・カンパニー（The Forsythe Company）
フランクフルト・バレエ団でのコンテンポラリーダンスにおける革新的な試みによって、世界トップレベルの評価を獲得してきたウィリアム・フォーサイスが、2005年にフランクフルト、ドレスデン（ドイツ）を拠点に立ち上げたプライベートダンスカンパニー。



参考写真：The Forsythe Company 「Theatrical Arsenal II」
（ダンサー：安藤洋子、島地保武） photo: Dominik Mentzos



参考写真 photo: Dominik Mentzos



参考写真 photo: Hirohiko Ikeda

作家プロフィール



安藤洋子 | Yoko Ando

ダンサー

1989年、舞踊家の木佐貫邦子に出会い、本格的にダンスを始める。振付家、笠井勲、山崎広太などによる多数のダンス公演に参加。1997年より自作自演のソロダンス活動を開始。その傍ら、野田秀樹、作・演出のNODA、MAP公演、小澤征爾指揮によるロベルト・ルバージュ演出のオペラ、坂本龍一オペラ「LIFE」に出演するなど幅広く舞台で活躍。2001年には、ウィリアム・フォーサイスに認められ、フランクフルトバレエ団（2005年よりThe Forsythe Company）に入団。これまでにカンパニーの33作品を踊り、ザ・フォーサイス・カンパニーの中心的存在として世界の第一線で活躍中。同時に日本においても、自らの企画プロジェクトや外部カンパニーへのゲスト出演、振付けなど精力的に活動している。

www.yokoando.com

身体表現をめぐる共同研究開発から生まれた、新作インスタレーション 仮想のオブジェクトとの接触によって、身体に隠された未知の動きを発見する

新作インスタレーション「Reacting Space for Dividual Behavior」は、体験者が、動きの連続性や、自己の身体のイメージを一旦解体し、身体を捉えるための多様な視点、自己の身体の新たな反応や機能を発見する機能をもっています。作品空間には、不可視のオブジェクトが設定されており、体験者は、実際の身体と仮想空間内のオブジェクトとの関係性を、音や映像によって意識します。現実と仮想空間がオーバーラップする環境で生じる、自己の身体の予想のできない反応と、身体への新たな視点が、空間・身体・運動への知覚を生み出します。



参考写真 photo: Dominik Mentzos

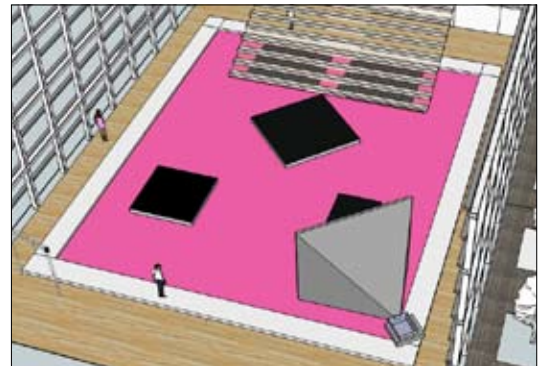
展示作品

安藤洋子「Reacting Space for Dividual Behavior」

(リアクティング・スペース・フォー・ディビジュアル・ビヘイビア)

2011 (YCAM委嘱作品) | インスタレーション

本インスタレーションには、体験者とオブジェクトを合成した仮想空間をつくり出すシステムが導入されています。会場内の3つのステージに配置されたモニターには、動き、位置情報を含む体験者の姿と、見えないオブジェクトとをリアルタイムで合成した仮想空間(アニメーション)、様々な角度からステージの広範囲を撮影する映像、過去の体験者のディレイ映像などが映し出されます。ステージ上の体験者は、モニターを確認しながら、身体を動かし、仮想空間や会場内で生じる様々な反応を体験することとなります。



会場の展示予定図(2011年4月)

統一的な身体のイメージを解体する

ステージ上の体験者が、仮想空間上でオブジェクトに接触すると、会場内に音が響きます。体験者は、様々な音色から、見えないオブジェクトの存在、さらには自らの身体を中心とする仮想空間内の方位を想像します。自己の身体にくわえ、仮想空間内の身体を意識することで、自己の統一的な身体のイメージに、ある種の亀裂が生まれるとともに、動きの連続性が遮断されます。体験者は、身体と空間との新たな関係性の中で、普段とは異なる身体感覚や知覚を獲得していきます。

身体と空間への新たな視点を獲得する

モニターの映像を通じ、体験者は、仮想空間における自らの存在や、ステージ上の身体が存在を客観的に把握します。普段は意識することのない、身体を取り巻く様々な情報を、動く行為により試行錯誤しながら獲得することで、体験者は、次のアクションを起こしていきます。身体の外に広がる環境を、動きによって把握し、そのうえで、自己の身体を知覚していくプロセスを通じ、体験者は、身体への新たな視点と空間感覚を獲得します。

開催概要

山口情報芸術センター[YCAM] 滞在制作/企画展(YCAM委嘱作品)

安藤洋子 新作インスタレーション

「Reacting Space for Dividual Behavior」

(リアクティング・スペース・フォー・ディビジュアル・ビヘイビア)

2011年5月28日(土) - 8月21日(日) 10:00 - 19:00

山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ 入場無料

※火曜休館

<http://rsdb.ycam.jp/>

※5月28日(土)は、作品公開時間を20:30まで延長いたします。

新作「Reacting Space for Dividual Behavior」は、5月28日(土) 18:00-19:40、8月20日(土) 12:30-19:00はイベント開催のため、作品内への入場はできません。

関連イベント

■オープニングイベント

安藤洋子デモンストレーションパフォーマンス

出演：安藤洋子

5月28日(土) 19:00-19:40 会場：ホワイエ 入場無料

本展アーティストの安藤洋子が、新作インスタレーションの空間内でデモンストレーションをおこないます。

(サウンド：平樂寺昌史)

※イベントタイトルが変更になりました。

■ワークショップ

'Reacting Space for Dividual Behavior' ワークショップ

講師：安藤洋子 ゲスト：アマンシオ・ゴンザレス、島地保武

8月20日(土) 13:00-17:00 会場：ホワイエ

本展アーティストの安藤洋子を講師に、ザ・フォーサイス・カンパニー所属のダンサー、アマンシオ・ゴンザレス、島地保武をゲストに迎え、新作インスタレーションを用いた身体ワークショップを開催します。

料金：1,000円 対象：高校生以上(ダンス、演劇、音楽、武道などの身体表現を实践されている方。表現のジャンルは問いません。)

定員：10名 ※要申込

申込方法[ワークショップ]

申込受付期間：

2011年6月20日(月) - 7月31日(日) 必着

申込方法：

往復はがき、FAX、e-mailにて、下記項目をご記入の上、お申し込みください。

①名前(ふりがな) ②性別 ③生年月日(保険適用のため)

④郵便番号/住所 ⑤電話番号、FAX番号等連絡先

⑥活動歴 ⑦ワークショップ参加の動機

応募先/お問い合わせ：

山口情報芸術センター [YCAM] 安藤洋子ワークショップ係

〒753-0075 山口市中園町7-7 TEL: 083-901-2222

FAX: 083-901-2216 e-mail: workshop11@ycam.jp

主催：公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市、山口市教育委員会

共同開発：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

サウンドデザイン：平樂寺昌史

ビジュアルプログラミング：比嘉 了

キュレーター：阿部一直(YCAM)

■YCAMギャラリーツアー

6月4日(土)、5日(日)、11日(土)、12日(日)、25日(土)、26日(日)

7月2日(土)、3日(日)、9日(土)、10日(日)、16日(土)、17日(日)、30日(土)、31日(日)

8月6日(土)、20日(土)

【会期中16回】各回14:00-15:00 参加無料

※平川典俊 新作インスタレーションと同時開催。

※各日開催までにYCAM1Fチケットインフォメーションまでお申し込みください。

■同時開催

YCAM 滞在制作/企画展(YCAM委嘱作品)

平川典俊 新作インスタレーション

「Beyond the sunbeam through trees - 木漏れ日の向こうに」

(ビヨンド・ザ・サンビーム・スルー・ツリーズ)

2011年5月28日(土) - 8月21日(日) 10:00 - 19:00

会場：スタジオB 入場無料

コラボレーティブ・アーティスト：

ミヒヤエル・ローター (作曲家/ミュージシャン)、

安藤洋子(ダンサー)

※5月29日(日)にはオープニングイベントとして、ライブコンサート

「sound tectonics #9」を開催。



新作参考写真
(ダンサー：安藤洋子)